

戦評用紙

| | |
|-----|---------------------------------|
| 大会名 | 第70回藤井杯・高野杯山形県高等学校バスケットボール選手権大会 |
|-----|---------------------------------|

| | | | |
|----|--------------------|----|---------------|
| 日時 | 2018年4月22日 12:45 ~ | 区分 | 山形県バスケットボール協会 |
|----|--------------------|----|---------------|

| チームA | | | | チームB |
|-----------|----|----|----|-----------|
| 山形市立商業 | | | | 山形中央 |
| 76 | 17 | 1Q | 8 | 59 |
| | 18 | 2Q | 9 | |
| | 17 | 3Q | 18 | |
| | 24 | 4Q | 24 | |
| | | 延長 | | |

【戦評】

県新人戦の決勝戦と同カードとなった山形商業高等学校対山形中央高等学校。

白：山形商業高等学校、#5#6#7#8#9青：山形中央高等学校、#4#6#7#11#15

第1Q山形中央ボールで試合がスタートする。両チームともマンツーマンディフェンス。山形中央#4のジャンプシュートで先制点を取る。山形商業#7の1対1で攻めるも2本シュートを外す。その後山形中央は何本かシュートを打つも入らず、点差は2点のまま残り7分。山形商業#9がファウルをもらい、フリースローを2本とも決め、同点に。すかさず、山形中央は#11がドライブに行き、点差を2点に広げる。山形商業も#7の右ドライブで同点にする。山形中央はオフェンスリバウンドを取るも、決めきれない。残り、4分35秒山形中央1回目のタイムアウト。#11のドライブから#6への合わせのシュートが決まる。山形商業もフリースローとゴール下シュートを確実に決め、点差を広げにかかる。山形中央は1対1を中心に攻めるも決まらずチームファウルもかさみ、流れが山形商業に傾いたところで、第1Q終了。

第2Q、開始早々山形商業#6がバスケットカウントをもらい、流れを確実に掴むと思われたが、その後、山形中央が連続得点を決め、点差は7点差に縮まる。山形商業#6が3Pシュートを2本決める。山形中央は途中、3-2のゾーンディフェンスにし守りを固める。山形商業は確実にミドルシュートを決め、残り3分27秒山形中央2回目のタイムアウトを取る。この時点で山形商業33:14山形中央。山形商業が残り1分57秒でタイムアウトを取る。残り10秒ほどで山形商業#6が1対1でシュートを決め、山形商業リードで第2Q終了。

第3Q、山形中央#4がファウルをもらい、フリースローを2本決め、後半が始める。その後も、山形中央が連続シュートを決め、バスケットカウントや3Pシュートで8点差に縮める。たまたら、山形商業は残り6分02秒、後半1回目のタイムアウト。タイムアウト後、山形商業が勢い取戻し、13点差に戻す。山形中央は残り5分21秒で後半1回目のタイムアウトを取る。両チームともに点数を重ね、17点差で第3Q終了。

第4Q、点差は3分間縮まらず、残り7分22秒で山形中央タイムアウト。山形商業#11#10が3Pを決め、点差を離そうとするが、山形中央#8が連続で3Pシュートを決め、再び17点差になる。その後も、一進一退の攻防が続き、点差はほぼ変わらずに試合が進む。残り1分、山形商業が安定したシュートで点数を決めるも、山形中央も最後まで、引き下がらず結果、点差変わらず、76:59で山形商業に軍配が上がった。両チームとも全力を尽くし、戦ってくれたことに大きな拍手を送りたい。6月の県総体では更にレベルアップした姿を見せてくれることに期待したい。

戦評者

福士 堅